

査読・表彰基準

1. 査読基準

年次大会では、発表希望者の学術または成果発表の自由を尊重することを基本とします。一方で、発表範囲、論理展開、事実関係または学会の社会的役割等を総合的に勘案し、提出された会議論文を対象として、下記の基準に従って日本核物質管理学会（以下、「当学会」という）が査読します。査読の結果、発表の採否を決定し、論旨展開や文法等に不備がある場合や査読基準を満足しない場合は、会議論文の修正を求めることがあります。

なお、当学会の指示に反し、適切な修正が、定められた期限内に行われない場合には、発表を認めない場合があります。

- ① 核物質管理に関連する発表であり、別に定める発表範囲（年次大会発表テーマ例）を大きく逸脱していないこと。
- ② オリジナルな発表であり、過去に内容の全部または主要な部分が既に公表されていないこと（米国本部における発表を除く）。
- ③ 以下のいずれかの種別に該当すること
 - A) 研究発表 研究の対象・方法あるいは結果にオリジナリティーがあるもの。
 - B) 技術報告 技術経験や知見をまとめた実用価値のあるもの。必ずしもオリジナリティーにとらわれない。
 - C) 活動報告 ベストプラクティスや人材育成プログラム事例など、本分野の発展に価値のある活動報告。
 - D) 総説 これまでの知見や歴史をレビューし、本分野を広く展望したもの。
 - E) その他 当学会により発表が適正であると認められたもの。
- ⑤ 誹謗中傷、公序良俗に反する文言、政治的・宗教的思想が含まれていないこと。
- ⑥ 公共の利益に資すること。
- ⑦ 研究者・技術者への技術伝承につながる内容であること。
- ⑧ 会議論文作成要領に沿っていること。

2. 表彰基準

年次大会では以下を表彰します。

- 最優秀論文賞
- 優秀論文賞
- 最優秀発表賞（ポスター）
- 優秀発表賞（ポスター）

論文賞については、当学会が指定する表彰選考人（査読者、プログラム委員）による会議論文評価点を 2/3、年次大会参加者全員による口頭発表評価点を 1/3 の配分とし、総合的に評価を実施します。各評価項目は以下の通りです。

(1) 会議論文

- ① 研究発表： 研究の対象・方法あるいは結果にオリジナリティーがあるか。
- ② 技術報告： 技術経験や知見をまとめた実用価値があるか。必ずしもオリジナリティーにとらわれない。
- ③ 活動報告： ベストプラクティスや人材育成プログラム事例など、本分野の発展に価値のある活動報告であるか
- ④ 総説： これまでの知見や歴史をレビューし、本分野を広く展望したものとなっているか。
- ⑤ 英語（要旨）： 全体を適切に表している。
- ⑥ まとまり： 研究の背景、結果、評価（考察）、総括等、良くまとまっているか。
- ⑦ その他： 論旨展開が簡潔で読みやすい。締切期限は守られたか。

(2) 口頭発表

- ① 発表： 分かりやすい説明であったか。
- ② スライド： 見やすさ、図表の説明、要点が示されていたか。
- ③ 時間： 時間内に発表を終了できたか。
- ④ 結論： 発表の総括をきちんと行ったか。
- ⑤ 質疑： 座長や聴衆の質疑にきちんと対応したか。

(3) ポスター発表

- ① 発表： 分かりやすい説明であったか。
- ② ポスター： 見やすさ、図表の説明、要点が示されていたか。
- ③ 結論： 発表の総括をきちんと行ったか。
- ④ 質疑： 適切な対応を行ったか。

以上